



ごあいさつ
紺碧の海原が輝く沖縄らしい本格的な夏の到来です。

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃のご厚情に心から感謝とお礼を申し上げます。

平成22年度名護市6月定例会が去る6月25日に閉会しました。私にとって2期目最後の定例会であり、これまで2期8年間、連續32回目の一般質問も無事に終えることができました。お陰様で市民生活に直結する数多くの実績を積むことができました。

これも偏に、貴殿をはじめ、皆様方のご芳情とご支援の賜物であり、衷心より感謝申し上げます。

国政においては、「政治と力疑惑」「マニフェスト違反」「普天間飛行場問題の迷走」

などの失政で鳩山首相の退陣、民主党小沢幹事長の辞任、社民党の政権離脱などで混乱しております。鳩山政権から菅政権へ変わったとしても問題の解決にはなりません。昨年の総選挙で、「政権交代」を期待した多くの国民を裏切るものであり、失望しております。

公明党は、全国津々浦々に3000名(そのうち女性約900名)を超える議員のネットワークがあります。地域や現場の声が届く政治が今こそ大事になってきております。

さて、私は、今年9月12日に行われる名護市議会議員選挙において、3期目に挑むことになりました。本市には、多くの課題がありますが、どこまでも市民の皆様の立場になって賢明に取り組み、一人一人が安心して暮らせる街づくりを推進して参る所存でござります。どうか、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

皆様方のますますのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

議会報告

二、環境行政について

「持続可能な循環型社会を目指す」として、ごみの有料化による、ごみの減量化とリサイクルの推進が、昨年平成21年2月から開始されました。質問(1)これまでの経過と今後の取り組みについてお伺いします。

答弁 平成20年と平成21年のごみ処理量を比較して、総ごみ量は26%の減、資源ごみ量は2.3倍の増加でリサイクル率は4.8%から14.8%に向上しております。今後は、「クリーン指導員(仮称)」を立ち上げ、ごみ分別の意義や意識高揚を図ってまいります。

質問(2) 市中のごみの散乱がいまだに散見されますが、対応策をお伺いします。
答弁 散乱ごみについては福祉作業所に委託して主要道路の清掃をしております。ごみ収集員はそのつど周辺清掃を指導しております。

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、普天間基地問題について

質問(1) 先月平成22年5月28日、鳩山政権において、沖縄県と名護市の頭越しで米軍普天間飛行場の移設先をキャンプ・シュワブ辺野古崎地区及びこれに隣接する水域とする日米共同声明が発表されました。稲嶺市長はどう受け止めておられるのかお伺いします。

答弁 連立3党の合意もなく、閣議決定も経ず、県外移設を求める県民、市民の民意を無視した頭越しの合意であり、菅新内閣もその日米共同声明を踏襲するとしているが、全く実行性もなく、到底受け入れられるものではありません。

(1面からつづく)

質問(3) 家庭ごみの正しい「分け方」と「出し方」のパンフレットの改良についてお伺いします。

答弁 市民の意見を集約しており、「改訂版」を発行する予定で現在、校正中です。

三、教育行政について

質問(1) 学校教育現場におけるICT(インフラ・オーディオ・ビデオ・ネットワーク・システム)環境整備で地上デジタルテレビ、パソコン、電子黒板等の整備状況についてお伺いします。

答弁 地上デジタルテレビ244台、パソコン266台、電子黒板23台、デジタルカメラ23台、一眼レフカメラ23台、納期を8月末日とし市内業者とスケジュール調整中です。

質問(2) 名護市公立学校施設整備計画についてお伺いします。

答弁 今年度と次年度は、屋部小学校校舎改築事業、統合久志小学校校舎新築事業、久辺小学校屋内運動場整備事業を予定しております。24年度以降は、老朽化が著しい建物から順次改築を行い安全・安心な学校づくりを進めていきます。

質問(3) 小・中学校の洋式トイレへの改修状況についてお伺いします。

答弁 校舎改築時には洋式トイレを設置しております。今後もできるだけ清潔で明るく安心できる洋式トイレを設置していきます。
(これ以降は紙面の都合により質問のみを掲載いたします。ご了承下さい。9月初めの会議録をご覧ください。)

四、防災行政について

質問(1) 先日の5月29日(土)沖縄本島中北部に激しい雨が降り、名護地区には、大雨・洪水警報が発令されました。この大雨により、市内各地に土砂崩れ、床上、床下浸水などの被害がもたらされました。被災者の皆様には心よりお見舞い申上げます。そこで、

質問(1) 被災地域、被災状況、被災の原因、被災者への対応、今後の対策について

質問(2) 伊差川地域の深田川のしゆんせつ
質問(3) 喜知留川、我部祖河川の改修状況
質問(4) 渡名喜橋の改修について
質問(5) 港区内の港川の改修について

五、福祉行政について

児童扶養手当の対象を父子家庭に拡大する「改正児童扶養手当法」が過日の5月26日、参院本会議において、全会一致で可決、成立しました。そこで、

質問(1) ひとり親家庭の支援について、改正児童扶養手当の内容、実施日、受給対象者と母子および父子家庭の内訳、支給予定総額についてお伺いします。

質問(2) 本市における、うつ病、DV(ドメステイック・バイオレンス)、児童虐待、独り暮らしの高齢者の状況と支援について

六、通学路の安全確保について

金城善英(ヨシヒデ)のプロフィール

☆ 昭和34年9月14日生まれ
☆ 名護市済井出(スムイデ)出身の両親の3男。屋号は善長家(ぜんちょうや一)
☆ 昭和53年、小禄高校(13期)卒
☆ 昭和56年、県立農業大学校(1期)卒
☆ 昭和59年、米国ビッグバンド・ユニティカレッジの研究課程修了・応用科学准学士
☆ 名護市議2期、経済建設常任委員会副委員長、軍事基地等対策特別委員
☆ 家族: 妻と1男2女
☆ 尊敬する人: 両親
☆ 好きな言葉: 報恩感謝

金城ヨシヒデの実績

- 名護小学校の不使用プールの解体撤去
- 名護幼稚園園舎の改築事業を推進
- 名護小学校の正門横のよう壁を改良
- 子どもの医療費の無料化(就学前までの通院・入院費と中学卒業までの入院費)
- 妊婦健康診査費の14回完全無料化
- 出産育児一時金の拡充(38万円から42万円へ)
- 新生児に絵本を贈呈するブックスタート事業
- 市役所の優先駐車場の確保と案内看板の設置
- 市民農園の開設を推進
- 民間ドクターへリMESHの運航再開推進
- 父子家庭への児童扶養手当支給の推進
- 児童・生徒の通学路の安全確保

金城ヨシヒデの公約

- 若者の就労支援・地域若者サポートステーションの設置
- 農林水産業の活性化と観光産業の振興
- 子どもの医療費の窓口支払いの改善
- 子宮頸がん、ヒビ、肺炎球菌ワクチンの公費助成
- 救急ヘリ、国立医師バンク設立の支援など
- 防災マップの総点検と防災体制の強化

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか?

日刊(1ヶ月1,835円/税込)
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。

お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259